

小学校5、6年に教科担任制

中教審答申 理・算・英 2022年度めど

中教審答申のポイント

- ・小学5、6年で2022年度をめぐりに教科担任制を導入。対象教科に理科、算数、英語を例示
- ・小中学校の両方で教えられるよう、教員免許の取得要件を弾力化
- ・高校普通科を再編し、新学科を設ける
- ・特別支援学校への設置基準を策定
- ・通信制高校への指導を強化
- ・ICTの「日常的活用」

中央教育審議会は1月26日、小中学校の教育の在り方に関する答申を取りまとめ、小学5、6年で専門の教員が教える教科担任制を、2022年度をめぐりに本格導入すると明記しました。

「教科担任制」は慎重にすべき

導入により、専門の教員が指導することで、子どもたちの理解や学びを深め中学校での学習につなげやすくなり、教員1人当たりの授業時間の削減や準備の効率化により負担を軽減できるとしています。

現在すでに教科担任制を取り入れている学校では、A先生は国語、B先生は算数、C先生は理科というように、教える教科を学年の担任間で分担する方法を実施しているケースがあります。しかしこの方法では、一人ひとりが教える教科数は減りますが、その分他のクラスで授業をしているた

導入には教職員定数の改善が必須

女性部【育児・介護・健康アンケート】

泉北教組女性部では、女性教職員を対象に『育児や介護、健康に関するアンケート』を20年10月に実施し、70名から回答をいただきました。その報告の第2回です。

1. 母性のために(第1回の続き)

不妊治療休暇は、治療を受ける場合一会計年度につき6日以内取れます。給与は減額されます。

(1) 不妊治療休暇があることを知っていますか。 はい：19名 いいえ：51名

(2) 興味がありますか。 はい：21名 いいえ：49名

2. 妊娠したら

(1) 職場で昨年度、妊娠・出産された方はいらっしゃいますか。

はい：47名 いいえ：22名 分からない：1名

(2) 3年以内に、妊娠・出産をされましたか。

はい：4名 いいえ：65名 未記入：1名

(3) (2)で「はい」と答えられた方にお聞きします。どの制度を取得されましたか。

ア 通院のための休暇：3名

イ 通勤緩和措置(朝夕各30分以内)：4名

ウ 妊娠障害(つわり等)休暇：4名

(4) 産休、育休は希望通り取れましたか。

取れた：11名 取れない：1名



め、時間的な負担が減るわけではありません。教科により週の時数は異なっているの、均等に時間を割り振ることは難しく、人によっては自分のクラスだけで授業している場合合よりも、授業時数が増える場合も考えられます。

自分のクラス以外のクラスの評価もすることになるので、その負担や他の先生とのすり合わせは大変です。

このように、学年間で教科担任制をしても教員の負担軽減にはあまり繋がらず、教職員定数を増やさないと、抜本的な解決にはなりません。また、小学校の「学級担任制」のよさを損なわないためにも、注視していく必要があります。

泉北教組に加入して子どもと教育を守ろう！